

地域おこし協力隊通信

町で活躍する地域おこし協力隊員が、令和3年度の活動を総まとめ！



ベイセンバイ・ゼレ
(高校魅力化担当)

皆野町の地域おこし協力隊員のゼレです。

私が生まれたカザフスタンはとても多様な国であり、100以上の民族が住んでいる国です。子どもの時からロシア語とカザフ語を聞きながら、いろいろな民族の子ども達と一緒に育ちました。世界には習慣の違う人がたくさんいるんだ！と小さい頃の私はそれが非常に興味深いと感じました。学校にいた時、他の文化についてもっと知りたい、なぜ彼らが他の言語を話すのかと思う、もっと異文化に触れたいと思いました。私は、大學生の頃に留学して異文化コミュニケーションを身に付けることができました。高校生たちと同じ機会を与えるために、異文化のオンラインプログラムに取

り組んできました。

2月15日(火)に、皆野高校とカザフスタンの高校との異文化交流会を開催しました。交流会はオンラインで実施し、カザフスタンの高校生が20人、そして皆野高校生が16人、早稲田大学生が10人参加しました。今回の交流会の目標は、日本とカザフスタンの文化を学ぶ楽しい交流を行うことでした。具体的には、高校生たちは学校生活、文化の特徴、歴史、旅行スポットについて紹介し、最後にグループに分かれ、自由なテーマで交流しました。オンライン交流会が終わった後生徒たちから「皆野町に行きたい、外国の生徒たちと話せてよかった、もっと英語を勉強してみたい」という意

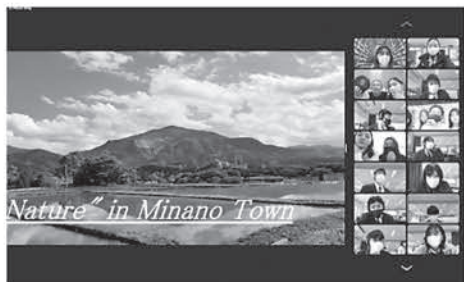


オンラインでも活発な交流ができました

見がありました。そして、高校生たちの楽しんでいる姿を見て今後も継続して交流会を開始したいというやりがいを感じています。

また、今年には皆野高校で「English Day」という国際クラブを立ち上げました。クラブでは、生徒たちと英語を勉強したり、一緒に英語で歌やビデオを見たり、季節によるゲームもしています。例えば、8月は秩父音頭の踊り方を英語で勉強し、海外向けの秩父音頭についてのビデオを一緒に作成しました。

現在はグルデン隊員と一緒に皆野町観光マップを英語とロシア語で作成しています。外国人の観光客にも伝わるマ



カザフスタンの学生に町の紹介

ップをめざして、去年の秋からマップを作成しはじめました。マップでは、私とグルデン隊員がお店で食事をして美味しいと思った気持ちや観光した時に町民の優しさを感じた場面も紹介しています。マップの作成はとても楽しかったです。

今後の活動は、皆野高校との連携を継続し、大学生や社会人によるキャリア教育を実施したいと思っています。今後も海外と皆野町をつなげる交流会を開催し、皆野町の国際化、また生徒たちの教育に役立つ人材になりたいと思っています。



海外の文化に触れる時間を増やしています